

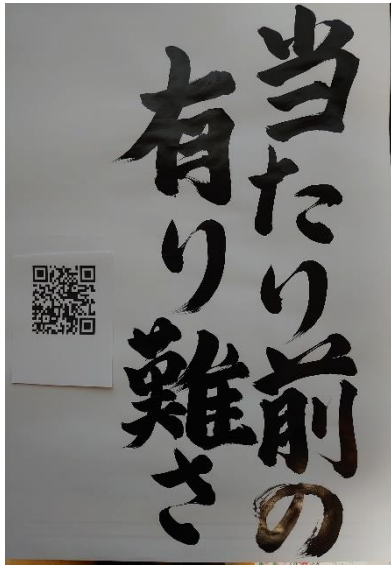
慶念寺々報

つなごがい

慶念寺の掲示板

新しい年が明けました。慶念寺の掲示板の言葉。今年も書いてまいります。ブログをご覧の方は、毎月解説を書いてまいりますので、ご覧いただいているかと存じます。

しかし、インターネットをなさらない方もいらっしゃると思いますので、毎月の寺報に慶念寺の掲示板の言葉について書いていきたいと考えています。今回は第5弾です。



「当たり前前の有り難さ」

私が学生時代によく聞いていた藍坊主というバンドがあります。今でも、当時の曲は時々聴くのですが、その中でも「スプーン」という歌が特に好きです。

特に好きな部分は、曲の後半の

あたりまえの あたりまえの 大切さに気付いてなかった身近なことを 喜びにしたい カレーライスのように ずっとずっと 大事にするよ 「あたりまえ」という「しあわせ」

藍坊主「スプーン」

と言う部分です。今月の掲示はこの歌を口ずさんでいる時に頭に浮かんだものです。

「当たり前」の事なんて無いんだ」この2年間で幾度となく聞いてきた言葉です。そしてまた、私自身も言ったことのある言葉です。でも、無くなった「当たり前」を嘆き、「当たり前」のことなんてない」と肩に力を入れて生活をするのは少し疲れてしまいます。

そうではなく、「当たり前」という「しあわせ」に気づき、今ある「当たり前」が「有難い」ことなのだと思っただけで生活することの方が大事なんだろうな。そんなことをふと思えます。



「有難い」というのは「有る」ことが「難しい」つまりは、「滅多にない」と言う意味の言葉です。滅多にない事、尊いことだと「当たり前」に目を向けることが出来たら、なんとなしに眺めていた日常がより大切なものに見えてくるのではないのでしょうか。

この1年で状況が大きく変わった方もいらっしゃるでしょう。あまり変化のなかった方もいらつしやるかもしれません。でも、全く何も変わらずに、何も出遇わずに1年を過ごしてきた方はいらつしやるらないと思います。

当たり前に明けた年でしょうか。そうではな

いんです。「自分」に明けた「自分」だけの「有難い」年なのです。無くしてしまつた「当たり前」を前に悲しむ方もいらつしやるでしょう。悲しむこともまた「有難さ」に気づかせてくださる尊いご縁です。大切にして欲しい。ただ、悲しむことと同じくらい、今身近にある「当たり前」の有難さにも目を向けていただきたいと思います。

日常の有難さ、共にいてくれる人の有り難さ。かけがえのないこのいのちを今生きている有難さ。

阿弥陀様はその「有難い」いのちに寄り添ってくださる仏さまです。「南無阿弥陀仏」とともに、それを感じていける1年を送っていききたい。そう思い、今月の掲示を「当たり前前の有り難さ」にいたしました



宗教法人取得へ向けての「ご協力をお願い」

慶念寺の当面の目標として「宗教法人の取得」というものがございます。慶念寺が開所してから、毎年神奈川県庁との折衝を重ね、現在活動報告三年目にはいつております。

活動報告が順調に進みますと、いよいよ来年度には宗教法人取得へ向けて、具体的な事務手続きを始めることとなります。

つきましては、来年度より、門徒名簿の作成を進めていく予定であります。

門徒名簿に記載をするのは「慶念寺でご法事・お葬儀をされた方」「有縁の方で、慶念寺の門徒になることをご希望の方」です。

門徒名簿の作成には、署名と押印が必要ですので、「慶念寺でご法事・お葬儀をされた方」には、また後日改めてご協力をお願い申し上げます。

また、門徒名簿に記載されても、強制的な寄付の依頼は行いません。もし今後、寄付をお願いするとしても必ず任意にていたします。また、引越しや諸事情などで、名簿からの離脱を希望される際にも、離壇料などを求めることなどは一切いたしません。

ご協力いただいた際には、慶念寺より、お礼のお品をお送りするとともに、築地本願寺などでの法要の団体参拝のご案内などを差し上げます。何卒、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



発送作業手伝いのお願い

来年も、寺報の発送作業のお手伝いをしていただける方を募集いたします。

慶念寺寺報案内発送作業
日時：令和四年二月二十六日(土)
十一時から

場所：慶念寺本堂
人数：最大三名

内容：寺報等の封筒詰め作業
密集を避けるために、募集人数を二名にし

ております。

なるべく短時間で終わる予定でおりますので、お手伝いいただける方は、電話やメールなどでご連絡ください。ご連絡、心よりお待ちしております。終了後、ご希望の方は駅までお送りいたします。

仏事について何かあったらまずお寺へ

ご法事に際しても、お葬儀に際しても、事前に日程を決めてからご連絡を頂くと、対応しかなる場合がございます。日程調整の上、予定を決めていきましょう。その際に疑問や質問がございましたら、遠慮なくお尋ねください。会場や葬儀社探しのお手伝いも致します。

ご法事について

最近ご法事で皆様が悩まれるのが場所の問題です。慶念寺では、お寺だけでなくご自宅でのご法事や、感染拡大防止のための暫定的な処置として、オンラインを利用してのご法事も行っております。お気軽にご相談ください。また、お布施に関しての質問等もお電話にてお尋ねいただきましたら、お答えいたしますので、こちらも遠慮なくお尋ねください。

お手紙下さい

おうちにあまつている便せんやハガキ、切手などがありません。是非慶念寺にお手紙をください。住職や坊主がお返事をいたします。最近では、お手紙をいただくことも増え、本当に嬉しく思っております。日常の事、ご相談などなど。是非お寄せ下さい。

次回の法話会 二月の法話会は

二月十二日(土) 十四時からオンラインイベント

涅槃会法話会を行います。お供物などございましたら、是非お持ちください。

編集後記

平成二十八年に開所した慶念寺ですが、昨年十一月に、六年目を迎えました。開所当時から準備を進めていた宗教法人の取得も、県庁との折衝が進みいよいよ現実味を帯びてまいりました。

目標にして、毎年準備を進めてきたとはいえ、具体的に事が進んでくると、非常に不安になっております。「門徒名簿の作成が出来るだろうか」「この状況下で設立総会が開けるのだろうか」「まだまだ、不安は尽きませんが、今できることを粛々と進めていくほかはありません。

門徒名簿にご協力いただいた方には、築地本願寺の参拝(普段見られないところが見られるような...)などを計画していこうと思っております。いつか、京都にあるご本山にも参拝旅行などもしてみたいと思っております。皆様是非ともご協力お願いいたします。



浄土真宗本願寺派 築地本願寺

川崎多摩布教所 慶念寺

〒214-0012
川崎市多摩区中野島 4-24-2-5
電話：044-819-5482
FAX：044-819-5538
Email：mail@kyounenji.com

ホームページ URL
<https://kyounenji.com/>



慶念寺ホームページ QR コード